

# Uber

Uberは、世界最大配車/相乗りサービスプロバイダーである。米国基準で、配車/相乗りサービスシェア6割強とシェアトップとなっている。2009年に設立し、2010年に配車サービスを開始して以来、2018年6月時点で、Uberは米国だけで登録ドライバー数約300万人、ユーザー(ライダー)登録数約4,500万人を確保しており、企業価値は、米国完成車Big3(GM、Ford、FCA)の合計を上回る約120億ドルとなる。2019年には上場(IPO)を計画しており、配車/相乗りサービスの拡大に向けて投資を加速する計画である。

Uberは、既存配車/相乗りサービスにおける事業強化を図るとともに、更なる収益源の確保に向けて、物品や飲食配達サービスといった事業の多角化を推進している。Uberの2017年12月期の売上高(Net Revenue)は111億ドル(前年比14%増)、純損失は45億ドル(前年比61%赤字拡大)となった。Uberの赤字は創業以来続いている。こういった赤字の背景には、高い人件費比率(全体の7割)にある。このほか、自動運転関連投資(同2割)、その他システムメンテナンス費用等(同1割)の順と占める。慢性的な赤字構造となっている中で、Uberは持続的な収益源の確保に向けて事業の多角化を図っており、2015年に飲食配達サービスのUberEATSを立ち上げ、自転車シェアサービスの開始に向けて、2018年4月に大手自転車シェアサービスプロバイダーのJUMPbikeを約2億ドルで買収した。

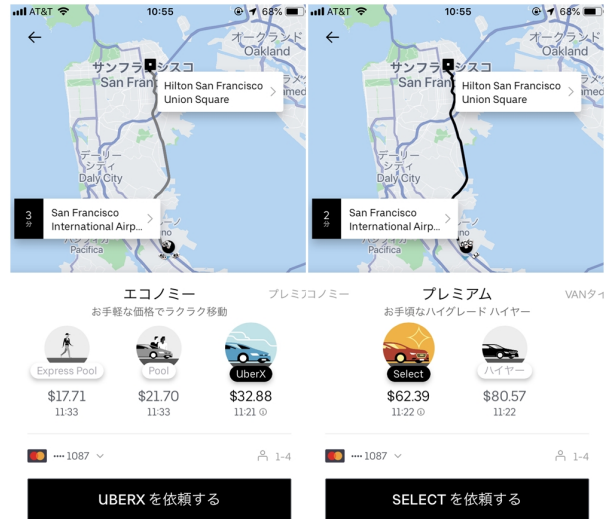
## 【Uber、企業概要】

サービス分野	サービス名	詳細
ライドソーシング	UberX	標準乗用車を最大4人まで搭乗できるサービス。
	UberXL	最大6人まで乗れる大型車両によるサービス。
	UberPOP	小型またはサービスコンパクト車両によるサービス。
	UberSUV	SUV車両によるサービス。
	UberBLACK	黒色の高級車両によるサービス。
ライドシェア(Carpool)	UberPOOL	同一方向に向かうライダーとのライドシェアサービス。
	UberPOOL Express	UberPOOLの廉価バージョン、乗車する人が、ドライバーと他の乗客のための時間を節約するために一定距離を歩かなければならない。
障害者アシスト	UberASSIST	老弱者、障害者に対し、サポートするが、車椅子の運送はサービス除外。
	UberWAV	車椅子利用の乗客へのサービス。
タクシー呼び出し	UberTAXI	Uberアプリを介したタクシー呼び出しサービス(決済システムはなし)。
自転車シェア	Uber Bike	自転車シェアサービスで、子会社 JUMPbike の e-Bike のシェアサービスを行う。また、Lime Uberアプリを介して、スクーターレンタルサービスも展開。
ペット運送	UberPETS	追加料金の支払いでペットを運送。ペットハンドラーが必要。
子供の安全	UberKIDS	追加料金の支払いでチャイルドシートを提供。
カーシェア	UberRENT	Getaroundとの提携で、サンフランシスコで提供中のP2Pカーシェアサービス。
配達運送業	UberEATS	30分以内に提携レストランからの食事を配達する有料サービス。
	UberFeight	貨物運送業者とトラックドライバーをマッチングするサービス。

(Uber 広報資料、各種報道等より FOURIN 作成)

【Uber、主なサービス内容】

- Uber の配車サービスは、携帯アプリケーション上で、行先を入力し、現在地からの距離および車両のクラス、一人乗りまたはカープールの可否などで、運賃が変わる。
  - 料金は大きく、エコミーとプレミアムに分かれる。
    - :エコミーは、基本サービスである UberX(1 人乗りライドシェア)と、UberPOOL と Uber ExpressPOOL(2 人乗り以上の乗り合いライドシェア)となる。
    - :プレミアムは、原則 1 人乗りのサービス。高級車を利用できるサービスまたはバンなどハイヤーサービスを利用可能。
- Uber の配車サービスは、San Francisco 基準で、通常予約後2~3分後に Uber 車両が迎えに来る。
  - 予約後、当該車両が動き出してから、予約をキャンセルする場合、ペナルティが課される。また、ドライバーがピックアップポイントに到着後、予約者が5分以内に見えない場合もペナルティが課される。
  - Uber ExpressPOOL の場合、一定の乗車位置まで予約者が徒歩で移動しなければならない。徒歩で 1~2 分程度の距離の移動を求められるが、その分、運賃は安くなる。
    - :Uber ExpressPOOL は、Uber を含むライドシェア業界で最安値となる。
- 決済方法は、クレジットカード、デビットカード、Apple Pay、Google Wallet、Alipayで可能。
- Uber では、障害者のための Assistance サービスも提供。利用項目で選択可能であり、料金は UberX と同様。



Uber アプリケーション上での料金案内画面

(Uber 広報資料等より FOURIN 作成)

【Uber、主な最近の事業動向】

- ▽米国 Pennsylvania 州 Pittsburgh に自動運転車開発拠点を設立
  - 2016 年 2 月、Uber は米国 Carnegie Mellon University (CMU) と戦略的パートナーシップを結んだことを発表した。これに伴い CMU キャンパス近隣に Uber Advanced Technologies Center を設置することも発表。
    - CMU や、National Robotics Engineering Center(NREC)の学生やスタッフと協業し、まずマッピング、安全、自律技術などの分野で研究開発を行う。
    - CMU 卒業生などの人材確保も図る。
- ▽商用トラックの自動運転化に取り組む Otto を買収
  - 2016 年 8 月、Uber は、米国の新興企業 Otto を買収したことを発表した。
    - Otto は米国 California 州 San Francisco を本拠として、商用トラックの自動運転化を可能とする後付け機器の開発等、商用トラックの交通・運転状況改善を目指した新興企業。元 Google 技術者で自動運転車開発に携わっていた Anthony Levandowski 氏、Lior Ron 氏、Don Burnette 氏、Claire Delaunay 氏が設立。
- ▽Volvo Car と自動運転車開発で協業
  - 2016 年 8 月、Uber は、Volvo Car と次期型自動運転車を共同開発することを発表した。共同開発プログラムには両社で計 3 億ドルを出資する。
    - 両社はお互いに共同開発するベース車両を自動運転車の開発に活用する計画。Uber は自社開発した自動運転システムを Volvo Car が生産するベース車両に搭載する。完全自動運転機能の実現も視野に入れている。
    - 自動運転開発のベース車両となる新型車は、Volvo Car の SPA モジュラーアーキテクチャを採用する。
- ▽自動運転タクシーサービスを開始
  - 2016 年 9 月、Uber は米国 Pennsylvania 州 Pittsburgh で限定的な自動運転機能を搭載したタクシーの配車を試験的に開始した。数台から開始し、100 台導入を目標とする。車両は Ford Fusion Hybrid がベース。
  - 2016 年 12 月、California 州 San Francisco で Volvo XC90 ベースの自動運転機能搭載車両を配車サービスに導入。
  - 2017 年 2 月、Arizona 州で Volvo XC90 ベースの自動運転車によるライドシェアサービスを開始。
    - 万が一の状況に備え、エンジニア 2 人を搭乗させ、手動運転モードでの対応も行う。

- ▽Daimler との提携発表
  - 2017 年 1 月、Uber は Daimler と、自動運転車の配車サービスへの導入に向けた協力で合意したことを発表した。
    - Daimler が開発する自動運転機能搭載車両の配車ネットワークを作り、Uber アプリサービスに導入する計画である模様。時期は未定。
- ▽Google との法的紛争
  - 2017 年 5 月、Uber は Google より提訴されたと発表。
    - Uber が提訴された背景は、Google の親企業である Alphabet の自動運転技術子会社の Waymo が、San Francisco 連邦裁判所に Uber と Uber が買収した自動運転トラック企業 Otto に対し、特許侵害訴訟を出したという。
    - 元 Alphabet のマネージャーの Anthony Levandowski(ワーバー技術部門副社長)が Alphabet を退職する直前に Google の機密ファイルを盗み、同機密を Uber の自動運転技術の開発に使用した疑い。
    - Uber は同疑いを否認している一方、Levandowski を解雇した。
    - 2018 年 7 月、Otto でのトラックの自動運転技術の開発を中止。開発資源を乗用車の自動運転技術開発に集中させる。
- ▽ソフトバンクが Uber への資本参加を発表
  - 2017 年 11 月、Uber はソフトバンクより 100 億ドルの投資提案を受けたと発表。
    - 100 億ドルのうち、90 億ドルは Uber の株式を獲得するために投じる。投資が実現すれば、ソフトバンクが Uber 株式 14%を確保し、最大株主の一つとなる。
- ▽Uber EATS サービスを米国で導入
  - 2016 年 3 月、Uber は飲食配達サービスの UberEATS を米国で導入。
    - California 州 Los Angeles で UberEATS を米国初導入。
    - 主要レストランとの提携。Uber のアプリケーションでメニューを選択し、注文すると Uber 登録のドライバーが飲食を配達する。配達料は平日 5 ドル/件。週末は割増料金が適応。
    - 2015 年、カナダ Toronto で初導入して以来。
    - 2018 年 10 月までに、世界 28 カ国で UberEATS を展開中。
- ▽UberBike を立ち上げ
  - 2018 年 4 月、Uber が自転車シェアサービスプロバイダー JUMPbike を買収し、UberBike としてサービスを提供すると発表。
    - ファスト/ラストマイルの実現に向けて、自転車シェアビジネスを開始。
    - JUMPbike の買収に向けて、Uber は約 2 億ドルを投じた模様。

(Uber 広報資料、各種報道等より FOURIN 作成)